

きらめく津山人

「プロになる」と決めたくっけは？
わたしは中学生の時、セレッソ大阪U-15というチームに所属してました。その上部組織に、セレッソ大阪U-18というチームがあるのですが、中学3年生になった春、当時の監督との面談の中で「上のチームには上がれない」ということを告げられました。その時は悔しかったのですが、セレッソ大阪U-18に上がることだけがすべてじゃないと思い、力を認めてもらえなかった悔しさをバネに、絶対プロになつてやると決心しました。

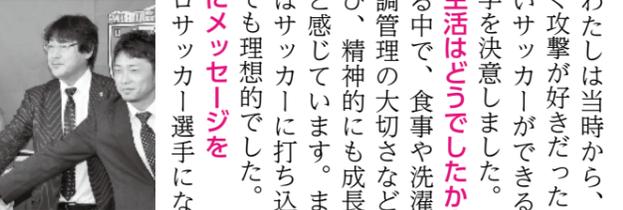
作陽高等学校に進学した理由は？
プロになるためには、精神的にも強くないといけないと思います。寮生活ができる高校を探していました。その中で、中学3年生の夏休みに作陽高校の練習会に参加した時、細かいパスをつないで相手チームを崩す「パスサッカー」という戦術を重視している高校だと

知りました。わたしは当時から、細かいパスをつなぐ攻撃が好きだったので自分のやりたいサッカーができる高校だと思い、入学を決意しました。

津山での高校生活はどうでしたか？
寮生活をする中で、食事や洗濯、生活リズム、体調管理の大切さなど、多くのことを学び、精神的にも成長することができたと感じています。また、津山での生活はサッカーに打ち込む環境として、とても理想的でした。

津山の皆さんにメッセージを
わたしはプロサッカー選手になれたのは、津山でサッカーができる環境を与えてくれた皆さんのおかげだと思います。これからも頑張りますので、応援よろしくお願います！

入団記者会見でユニフォームを着た伊藤さん



次の夢は、浦和レッズでレギュラーを獲得すること！
日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)浦和レッズ 入団内定選手 伊藤 涼太郎さん (作陽高等学校3年)

大阪市出身。Jリーグチーム・セレッソ大阪U-15を経て作陽高等学校に進学。多彩なパスと切れ味鋭いドリブル、高い決定力が持ち味。平成26年12月31日に出場した全国高校サッカー選手権大会1回戦で2得点の活躍をし、注目を集めていた。現在、日本代表U-18にも選出されている

PHOTO ふあるとるぽ REPORT

勇荘!賑わい!津山の秋祭り

市内各所

10月から11月にかけて、市内各所で秋祭りが開催され、多くの人で賑わいました。



津山まつり (徳守神社)



津山まつり (高野神社)



阿波八幡神社の花祭り



物見神社の花祭り



新野まつり

命を救う職場を体験

つやまっ子・デビュー14(北陵中学校)



11月11日、北陵中学校の2年生が職場体験をしました。津山消防署では、署内を見学し、1人の生徒が防火服を着る体験をしていました。消防署の人がその生徒にヘルメットをかぶせると、動きにくそうに顔をゆがめていました。消防署職員から「この防火服を着て1時間動き続けることもある」という話があり、防火服を着た生徒は「僕には無理かなあ」と答えていました。

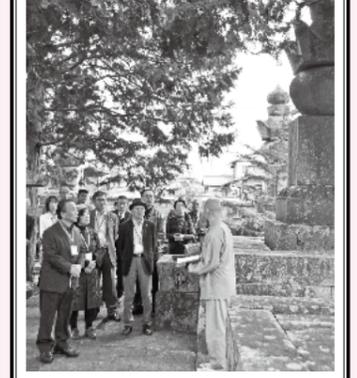
みんなで取り組む地域防災

津山市総合防災訓練

11月8日、吉井川河岸緑地公園(横山)で総合防災訓練が行われました。震度6強の大規模地震の発生による家屋の倒壊や、道路・水道の寸断などを想定して行われた訓練では、避難誘導や消火活動、負傷者の救助・治療活動を、市民や団体、関係機関など約600人が、有事さながらの緊張感を持ちながら行い、防災意識を高めていました。



津山市・可児市 歴史友好都市縁組20周年



森家の縁でつながる
11月21日・22日、歴史友好都市縁組20周年を記念し、岐阜県可児市から訪問団が来訪しました。可児市(旧兼山町)は津山市と同じく森家によって拓かれた城下町であり、訪れた訪問団は、森家の菩提寺である本源寺(小田中)など、ゆかりの地を巡りました。

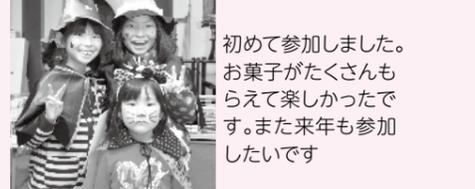


仮装行列に華を添えられるよう、参加しました。南京玉すだれを披露し、多くのお客さんに楽しんでいただくことができました。
八房楽備さん 第26回 出雲街道
八房文楽さん 津山城東むかし町
八房備恵さん 津山城東むかし町 (文ちゃん一座) 11月1日城東地区一帯



地域じまん 子どもボランティアガイドの皆さん(佐良山小学校6年)
第18回 さら山時代祭
11月8日佐良山小学校(皿)

EVENT イベントインタビュー



初めて参加しました。お菓子がたくさんもらえて楽しかったです。また来年も参加したいです。
山形海琴さん、湖珀さん、涼里さん(山北)
津山街中ハロウィンパーティー
10月31日ソシオー番街



地域の誇りである「田熊の回り舞台」を、これからもふれあいの場として後世に引き継いでいきたいです。
横部美津江さん(田熊)
国指定文化財・田熊回り舞台 40周年記念事業大祭
11月1日田熊八幡神社(田熊)



取材をした記事を書いたりして、広報の仕事の大変さが分かりました。また、自分が作成した記事が広報つやまに掲載されると、作成時にとても緊張しました。
吉原和哉さん(北陵中学校2年生)



はじめてのことばかりで、戸惑いながらやってみた取材は、思っていたよりもずっと楽しく、とてもワクワクしました。社会に出ていろいろな人と関わることによって喜びを感じました。
内田晴香さん(北陵中学校2年生)